

# 令和7年度 茅ヶ崎市「市民討議会」報告書

テーマ：

「みんなで語ろう！旧藤間家住宅（とうまけ）住宅のこれから  
～文化財×市民のアイデアで『ちがさき文化が湧き出る場所』を  
構想してみよう～」

茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会

## 目次

実行委員長あいさつ .....	1
1 市民討議会の実施概要 .....	2
(1) 日程等.....	2
(2) 討議テーマと情報提供.....	2
(3) スケジュール.....	2
(4) 参加者内訳.....	3
2 市民討議会の討議のヒント .....	4
(1) 討議 1 .....	4
(2) 討議 2 .....	4
3 市民討議会の提言のまとめ .....	5
4 市民討議会を振り返って .....	14
5 アンケートの結果 .....	16
(1) 事前アンケート .....	16
(2) 事後アンケート .....	19
(3) 不参加者アンケート（有効回答数 438） .....	23
6 市民討議会講評 .....	31
茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員の動き .....	32

※本報告書では、敷地と建物を含めた名称である市民族資料館条例の「旧藤間家住宅」と記載することを基本とします。ただし、文化財保護法の登録有形文化財に関する記述については、「藤間家住宅主屋」と記載します。

## 実行委員長あいさつ

2025年10月26日（日）、31名の参加者を迎えて、今回の茅ヶ崎市市民討議会が開催されました。会場は市役所本庁舎の1階、市民ふれあいプラザでした。本報告書は、その討議の様子、討議の計画、討議後の感想などをまとめたものです。

この日のテーマは、「みんなで語ろう！ 旧藤間家（とうまけ）住宅のこれから ～文化財×**市** **民** **の** **ア** **イ** **テ** **ア**で『ちがさき文化が湧き出る場所』を構想してみよう～」としました。茅ヶ崎市の貴重な歴史的資産である旧藤間家住宅のこれからを考える機会とし、その活用のアイデアを実際の市民の声によって集める、このような討議会を目指したからです。

それぞれのまちには暮らしがあります。そして、時間の経過とともに暮らしの結果が形をなしていきます。住宅も暮らし方も、こうして、日常が時間とともにその地域の文化となっていくときの内容であり、その重要な要素だと考えられます。そうであるならば、地域の文化は地域の人たちによってきちんと評価され、その重要性が定義されるべきだと思われまます。今回の討議会は、参加者のみなさまによる旧藤間家住宅の評価と定義を目指し、旧藤間家住宅をどのように活用すべきかを考える良き挑戦であったと思います。

当日は、参加者に6つのグループにわかれていただきました。そして、2つの内容について討議をお願いしました。討議1は「文化財の良さについて 旧藤間家住宅の良さについて」、討議2は「旧藤間家住宅×〇〇を考えてみよう！」という話題でした。2つの討議は、同じメンバーで話し合ってもらいました。そして、最終に、参加者自身の説明により、討議内容を紹介してもらいました。各班、参加者の日頃の考え方、旧藤間家住宅への思い、保存と活用の理想などが語られ、とても充実した話し合いだったと感じます。ご参加下さった参加者のみなさまには、あらためて、心よりのお礼を申し上げます。

それから、本討議会の成立にご尽力下さった方々にも、感謝を伝えたいと思います。関東学院大学名誉教授の水沼淑子先生には、討議の方向付けのため、常に適切に情報を提供していただきました。また、三者協働体制のもと、茅ヶ崎市、茅ヶ崎青年会議所、文教大学から実行メンバーとなって下さった方々は、すべての企画・運営に携わって下さいました。こうしたサポートにより、討議会の円滑な進行と成功につながったと思います。

本報告書は、この日の「討議」を記したものです。ぜひ、多くの市民のみなさまにご一読いただきたく存じます。そして、茅ヶ崎市にこうした対話や討議の文化が、さらに深く根をはることを願っています。

茅ヶ崎市「市民討議会」 実行委員長  
文教大学 国際学部 山田修嗣

## 1 市民討議会の実施概要

### (1) 日程等

- ア 日 時 令和7年10月26日(日)
- イ 会 場 茅ヶ崎市役所本庁舎1階市民ふれあいプラザ
- ウ 参加者 31名
- エ 主 催 茅ヶ崎市
- オ 企画運営 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会  
(文教大学湘南総合研究所、公益社団法人茅ヶ崎青年会議所及び茅ヶ崎  
崎市で構成)

### (2) 討議テーマと情報提供

#### ア 全体テーマ

「みんなで語ろう！旧藤間家住宅のこれから  
～文化財×**市****民****の****ア****イ****テ****ア**で『ちがさき文化が湧き出る場所』を構想してみよ  
う～」

#### イ 個別テーマ

- 討議1 文化財の良さについて 藤間家住宅主屋の良さについて  
討議2 旧藤間家住宅×○○を考えてみよう！

#### ウ 情報提供者

水沼 淑子氏(関東学院大学 名誉教授)

#### エ 情報提供

討議1 「登録有形文化財 旧藤間家住宅主屋(しゅおく)の魅力」

討議2 「旧藤間家住宅の可能性 旧藤間家住宅×●●」

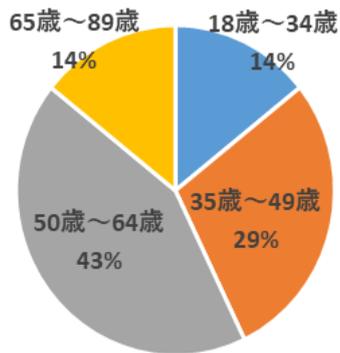
### (3) スケジュール

- 12:30 開会、主催者挨拶、市民討議会概要テーマ説明
- 12:50 旧藤間家住宅視察
- 14:10 【休憩】
- 14:30 情報提供①
- 14:40 グループ討議①
- 15:20 【休憩】
- 15:30 情報提供②
- 15:40 グループ討議②
- 16:20 【休憩】
- 16:30 グループ討議内容発表
- 16:50 1日の振り返り
- 17:00 閉会

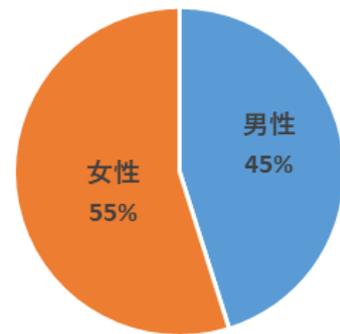
(4) 参加者内訳

	抽出数	参加者数		
		男性	女性	合計
18歳～34歳	850	2	5	7
35歳～49歳	550	4	1	5
50歳～64歳	350	6	10	16
65歳～89歳	250	2	1	3
合計	2000	14	17	31

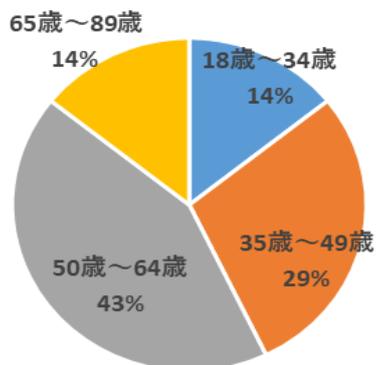
参加者年齢層



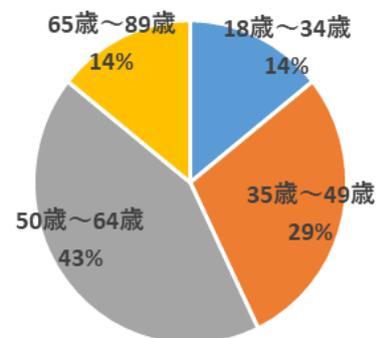
参加者男女比



参加者年齢層（男性）



参加者年齢層（女性）



## 2 市民討議会の討議のヒント

### (1) 討議1

『文化財の良さについて 旧藤間家住宅の良さについて』

内容	討議のヒント・きっかけ
自己紹介	・お名前、お住まい（地区）、討議会への期待
旧藤間家住宅の感想や印象	・文化財としての旧藤間家住宅についての感想 ・見学して良いなと思ったところ ・旧藤間家住宅の特徴など
お気に入りポイントの紹介	・旧藤間家住宅の写真を見せ合う ・魅力について
意見集約	・「旧藤間家住宅の魅力」のまとめ ・魅力のグループ化

### (2) 討議2

『旧藤間家住宅の×〇〇を考えてみよう!』

内容	討議のヒント・きっかけ
旧藤間家住宅でやってみたいこと 積極的に活用していくアイデア	・旧藤間家住宅の活用方法 ・旧藤間家住宅で何ができるか ・文化財だから保存していくというよりは、積極的に活用する方向で考える
意見集約	・活用方法で実現を期待すること ・市に提案したいこと

### 3 市民討議会の提言のまとめ

討議テーマ 「みんなで語ろう！旧藤間家住宅のこれから～文化財×市民の⑦⑧⑨⑩で『ちがさき文化が湧き出る場所』を構想してみよう～」

・討議1では、「文化財の良さについて旧藤間家住宅の良さについて」をテーマに見学した旧藤間家住宅の感想や印象、魅力を話し合う。文化財としての旧藤間家住宅についてどのような感想をもったか、旧藤間家住宅の魅力を討議。

グループ A	グループ意見
(1) 旧藤間家住宅を見学してよかったところ、気づいたこと、興味を持ったことなど	現地の案内者の旧藤間家住宅への愛を感じた / 歴史を感じた / 天井が低いため外国人が見学する際は慣れない / 夜は妖怪屋敷になりそうな雰囲気 / 隣の家に住んでいたら怖い / 実際見学しても公開されているVRと同じだった / みんなに周知されている感覚はない / においては特に気にならない / 段差がところどころある / 足元には注意 / 時間が少なく全てをゆっくり見ることができなかった / 一つ一つ道具などを説明して欲しかった / 旧藤間家住宅で滞在するとしても洋式トイレではないのが不便 / 玄関までの道がボロボロ / 広いのに活用されないのはもったいない / 旧藤間家住宅のマークや家紋はあるのか
(2) 班で語られた旧藤間家住宅の魅力	現地の案内者の旧藤間家住宅への愛 / 多種多様な植物 / 広い空間の庭 / 和洋折衷の建築 / 庭に咲いている金木犀のコントラスト / 飾られている芸術作品 / 浮世絵

グループ B	グループ意見
(1) 旧藤間家住宅を見学してよかったところ、気づいたこと、興味を持ったことなど	庭に入った瞬間のシナモンの木の香りが印象的 / リノベーションが進んでいるが古さとのバランスが良い / 古い建物特有の魅力と生活感が両立している / 南向きの縁側で風通しがよく、空調に頼らない快適さ手すりやすりガラス、レコードなど昭和レトロの雰囲気 / 昔ながらの閑静な住宅街で海まで歩いて10分という立地 / 散歩コースに最適な環境 / 知る人ぞ知るエリアで「隠れ家」的な価値がある / 納屋や蔵など母屋以外の建物にも文化財としての可能性

<p>(2) 班で語られた旧藤間家住宅の魅力</p>	<p>古い建物好きにはたまらない魅力 / 五感で感じられる心地よさ (香り、風、光、レトロ) / 自然と融合した庭の環境 / 地域に根ざした「隠れ家」的な存在 / 観光地化しない静けさを保ちながら地域住民に愛される場 / サステナブルで多世代が交流できる可能性</p>
----------------------------	--

グループC	グループ意見
<p>(1) 旧藤間家住宅を見学してよかったところ、気づいたこと、興味を持ったことなど</p>	<p>家屋の周りにある植木や自然が人を惹きつける / 歴史を感じられる / 茅ヶ崎の歴史 (地元学や考古学、民俗学など) が幅広く学べる場所 / 茅ヶ崎市の子どものための校外学習に使ってもいい / 敷地内に入った瞬間に自然に囲まれる感じがよかった / 四季折々で様々な植物の変化を楽しめる / 植物学のようなもの学べる / 家や小屋など木が使いこまれている様子が歴史を感じられる / 歴史を学べる場所は若者の学びに良い / 台風による倒木 (シロダモ) がアートみたい / 井戸の歴史の説明を聞いておもしろかった / 和と洋が入り組んでいる家の造りがおもしろかった / 応接間から和室に入るときに異空間に飛び込んだ感じがした / 旧藤間家住宅にどんな物語があるのか建物の意義がわからず魅力を感じ取れなかった / 現在住んでいる家も関東大震災の頃に建てられ造りが全く一緒に驚いた / 感慨深かった / 今残っている窓や扉のガラスは今では見られない貴重なもの / 庭の広さに驚いた / 小学校の遠足などで知ってもらうべき / 周囲が静かで車通りも少ないので心地よく過ごせそう / 茅ヶ崎市の文化財というと南湖院のイメージだった / 旧藤間家住宅は知らない文化財だった / もっと学芸員さんの説明を聞きたかった / 敷地内にある学習室や図書館も気になる (昔は利用していたのか?) / 駐車場があればいい</p>

<p>(2) 班で語られた旧藤間家住宅の魅力</p>	<p>庭の植物の香り・彩り、静けさ、玄関前の倒木のアート感 / 時代の移り変わりを閉じ込めた納屋や家の造りのリアリティさ / 杉や金木犀、ニッキの木 / 四季折々の美しさを感じられる / 井戸から温泉が出ていたこと / 井戸の歴史 / 学習室や図書館 / 家や小屋そのものの雰囲気 / 和洋折衷を感じられる / 洋室から和室に変わる瞬間 / その敷居をまたぐ瞬間に感じられる混乱 / 茅ヶ崎の歴史や民俗学・考古学などの学問が凝縮されている / 茅ヶ崎市の子どもたちの社会見学の場に使える / 小学校の遠足で訪れるべき / SDGs を考えるきっかけとなる場所 / 旧藤間家住宅周辺の静かさ</p>
----------------------------	--

グループD	グループ意見
<p>(1) 旧藤間家住宅を見学してよかったところ、気づいたこと、興味を持ったことなど</p>	<p>何年か前に行った時より庭がきれいになっている / 和洋折衷 / もう少しお金をかけてあげたほうが良い / 今のままだと朽ちていくだけなのではないか / 自分の実家があのような感じなので落ち着く / もっと展示をしたほうが良い / ニッキ（肉桂）も気になったが金木犀すごく大きい / 藤間温泉と書いてあって気になった / トイレの手洗い場が昭和を感じる / 洋室・和室で天井が異なっている / 使える建材は使うべき / 自分が生まれ育った床のようだった / 自分の家に似ている部分があった / 昔はこうだったんだと興味をもった / 外の石垣も素敵だった / あれだけ開放的だと寒くないのか</p>
<p>(2) 班で語られた旧藤間家住宅の魅力</p>	<p>建物以外の資料も価値がある / 文化財の資料が充実している / 住宅の中であって時間が止まったような感じがした / 住んでいた人たちの人柄とかが分かると面白い / 暮らしていた人の背景が分かると身近に感じる / 昔の女性で先生になるのはすごいこと / 旧藤間家住宅が知られていない / もっと広く知られてもいい / 中を解放するともっといい / 地中に昔の遺跡が埋まっているかも知れないから気になる</p>

グループ E	グループ意見
(1) 旧藤間家住宅を見学してよかったところ、気づいたこと、興味を持ったことなど	古いイメージだったが思ったよりきれい / 活用できそう / 庭も広い / ていねいに使われていた / 家屋内のものも残されていて良い / 寄付してもらえてよかった / 非日常を感じられる / 思ったより近い / 子どもたちの地域調べの良い材料 / すばらしい場所 / 価値がある場所 / 行きづらい / アクセスが悪い / 周辺の整備が必要 / 1人で行きにくい / 遠い / 人が入らないと廃れてしまう / 人が入りやすいようにすべき / 入りにくく外観だけしか見られない
(2) 班で語られた旧藤間家住宅の魅力	見てほしい / 小学校の見学先として広報 / 残されている絵も素敵 / 絵が好きな人が行くカフェに / 見学をした人のアイデアで良さをいかしていく / 建物や生活の文化などを活用 / 見学後に話ができるのも魅力 / 小学生のときに南湖院などの施設を見学したことは忘れないので子どもが歴史を学ぶ場所に / みんなで一緒に行ったという経験の共有も大切 / 管理者から貴重な話を聞く機会もすごく良い / 当時を知る（聞く）ことができるいい場所 / 景色や雰囲気が良い / 実際に足を運ぶことができる場所に / 中に入ってみると感動する / 感動体験ができる / 空間そのものを大切にすべき 茅ヶ崎の今につながる記録 / 特殊な作りの建物 / 庭の植物 / 貴重な調度品（階段式のタンスなど） / 魅力となる要素が多い / 茅ヶ崎の歴史を語っている / 年齢を重ねるごとに見方が変わる / 廻船問屋と海鮮の違いなど説明を充実すべき / 学ぶと気づきがありおもしろい / 歴史を想像（空想）できる / 茅ヶ崎にも歴史があるという発見の喜び / 当時の景色や海の位置の違いなどをAIで再現して体験できても想像力が働きワクワクする

グループ F	グループ意見
<p>(1) 旧藤間家住宅を見学してよかったところ、気づいたこと、興味を持ったことなど</p>	<p>広い / 建物も庭も広い / 古いものがたくさんある / 歴史あるものがたくさんある / 古いものが少なくなる昨今なのでうまく残したい / 自然が良い / 台所や風呂場の雰囲気も良い / 石垣が素晴らしい / 別世界に感じた / 存在を知らなかった / 茅ヶ崎に30年住んでも知らない / 残すべき場所 / 古い建物が減っており活用したい / 和室が少ないので残したい / 和室の利用方法を考えたい / 和と洋のバランスが魅力 / 庭がきれい / 何本もの木に驚いた / 井戸もあった / 異空間を感じ空気も変わった気がした / 祖父母の家みたい / 昔の家の感覚 / 床の間を久しぶりに見た / 維持するのはたいへんそう / 大広間や広場はない / たくさんの人が集まる場所への再整備は難しいかもしれない</p>
<p>(2) 班で語られた旧藤間家住宅の魅力</p>	<p>和室への憧れ / 土間が良い / お茶の間の雰囲気 / 縁側が良い / 庭の木陰が良い / 古くて良いところを残している / クーラーがいないほど風が通り過ぎしやすいと聞いた / 農具があるイメージ / 古いガラスも素敵 / 茅ヶ崎の金持ちの豊かな文化を感じられる / 細部まで繊細に作られこだわりを感じられる / 「茅ヶ崎にこのようなところがあるなんて！」という良い印象を与える / 地元の団結力を感じられる / 残っているものを大切にしたい / 見学の時間が短く感じられるような魅力がある場所 / 見足りない感覚 / すぐにでも再訪して説明を聞きたい場所 / 行って見て見学してわかる良さがある / 入ってみて良さがわかる場所 / 内部の公開が重要</p>

・討議2では、「旧藤間家住宅×〇〇を考えてみよう！」をテーマに文化財としての旧藤間家住宅の魅力をどのように充実させ、活用していくべきかを話し合う。市民が積極的にかかわることで、文化財がどのように「活用」されて、「充実」するか、どのようにしたら、旧藤間家住宅の魅力をさらに引き出せるかを討議。

グループA	グループ意見
<p>旧藤間家住宅でやってみたいこと 旧藤間家住宅を積極的に活用していくアイデア</p>	<p>庭にテーブルと椅子を設置してお茶会 / 茶道教室や華道教室など / 庭の木の枝も利用するのも特別感がある / 妖怪屋敷の雰囲気を活用してお化け屋敷の体験 / ハロウィンパーティーの開催 / 写真スタジオ / 茅ヶ崎市に移住予定の方に移住体験のための宿泊体験施設公園化 / 子どもを旧藤間家住宅で遊ばせるのは危ないかもしれないので安全対策を徹底 / 遠足や社会科見学で訪れることで親世代にも周知される / 有形文化財スタンプラリー / 市役所の近くやもっと目立つ場所に移転 / 市民に見てもらおう数を増やす / 海外に移転することで話題を集める / 桑田佳祐に旧藤間家住宅のテーマソングを作ってもらおう / ドラマの撮影場所にして聖地化 / 旧藤間家住宅カレンダーを作成して配布 / 案内人を増やす / AIに案内を補ってもらおう / 開館日を増やす / 現地の案内者を名物にする</p>

グループ「B」	グループ意見
<p>旧藤間家住宅でやってみたいこと 旧藤間家住宅を積極的に活用していくアイデア</p>	<p>子ども食堂や寺子屋で学習支援 / 近隣の団地や小学校との連携 / 農地を活かした食材の活用 / 庭でハーブティーやお菓子を楽しむカフェ / お母さんたちが気兼ねなく集まれる場 / 落語会やワークショップ / 庭でのゴロゴロ体験 / 日替わりで対象者を変えて多世代が交流できる工夫 / 広い庭を車椅子の方や高齢者も楽しめるバリアフリー空間に / 結婚式場としての利用 / 時間や曜日によって使い方を変えるシェアスタイル / 利益だけでなく教育・福祉的価値も重視 / 騒音が出る利用はNG / 市営か民営かの運営主体の検討 / 市民がどこまで関われるかの仕組み作り / SNS（インスタ）で「知る人ぞ知る」層へ届ける情報発信 / みんなで守るコミュニティ形成 / サステナブルな活用で多様な世代が交流できる拠点を目指す</p>

グループC	グループ意見
<p>旧藤間家住宅でやってみたい こと 旧藤間家住宅を積極的に活用 していくアイデア</p>	<p>空気観、建物と庭も含めた雰囲気 / 有料レンタルスペース / ピラティス・ヨガ・マインドフルネスの講座 / サークル / ハンドメイド雑貨や骨董のフリーマーケット 縁側を利用してお茶会をする / 庭の植物から中国茶について学ぶ会 / 和室で落語を披露する会、寄席の開催 / 茅ヶ崎市にある飲食店（個人店）の仕出しを持ち寄って食事会 / 茅ヶ崎市でスモールビジネスをしている人の活躍の場所にしたい/定期的に学問（歴史・民俗学・考古学）の講習 / 茅ヶ崎市にゆかりのある映画監督の映画鑑賞会 / 地域活性化につながる使い方をしたい / 茅ヶ崎市の観光地のひとつにする / ほかの有形文化財も含めて謎解きツアー / まち歩きのスタンプラリーの拠点にする/納屋や学習室や図書館を旧藤間家住宅にまつわるミニ博物館や資料館のようにする / 参加型の学び（海運業の歴史・民俗学・考古学・地元学）の場にしたい / 宿泊施設 / 姉妹都市から来る方の宿泊施設 / 民泊 / 地方から訪れた方の宿泊施設 / レストラン（茅ヶ崎市の個人店に協力してもらう） / あまり荒らされたくない、雰囲気を壊したくないので、要人限定にしてもいいかも / しっかりした規則をつくり、それを確実に守れる方々のみ宿泊可能にした方がいい</p>

グループD	グループ意見
<p>旧藤間家住宅でやってみたい こと 旧藤間家住宅を積極的に活用 していくアイデア</p>	<p>塾 / 英会話教室 / 夏に怪談話をすると楽しそう / 人が住むべき / コミュニティがあまりないから集まる場所にする / 子どものために使うべき / お手玉、竹馬などおいたら子どもも関心をもってくれるかも / 昔の遊びを経験できる / 広い庭を使ってゴルファーを育てる / 説明できた船のレプリカを見てみたい（小さくていい） / 海外の方に日本の生活を知ってもらおう / 赤字にならないように宿泊経験したい人向けにする / 昔の日本の暮らしを経験 / 立地を考えると賑やかになってしまうと問題がある / 住民の理解を得られるか / ワークショップで利用 / 茶道、華道、書道などをする場所（その体験をツアーに組み込むなど） / 十五夜や餅つきなどのイベントを庭で行う / 春夏秋冬のイベントを行う / イベントを行えば市民の方にも知ってもらえるかも / どのように収入をえるか / もうけないといけないのか検討すべき / マイクロバスを使ったバスツアー / 旧藤間家住宅を含めた茅ヶ崎全体のバスツアー（コミュニティバスを増やして活用） / コミュニティセンターのような地域の人が集まる場所 / 文化財でも湘</p>

	<p>南を感じられる場所に（ハワイを感じられてもいい） / 観光する場所が少ないから友人を連れていける場所に / 自然を感じられる、映えるもの（自然界隈） / 車で来たい人も結構いる / 駐車場をもうけられるのか / 市民は自転車でいきたい / 近隣の人に来てほしい / 情報発信はしつづ定員は設ける / 市長がTikTokでアピール / リピーターが来るかどうか（1回行って終わりにならないように） / ドラマや映画で使ってもらおう / 聖地巡礼などで来てもらおう / 市内の人、外の人両方に発信を / 最初は教育系の内容、その後イベントを行いSNSで発信する / 旧藤間家住宅×茅ヶ崎らしさが重要</p>
--	--

グループ E	グループ意見
<p>旧藤間家住宅でやってみたいこと 旧藤間家住宅を積極的に活用していくアイデア</p>	<p>小学校の授業で採用 / 教育に取り入れる / 景色（地形や海の位置の違いなども）を知ってもらうことで体験的に提示 / 気軽に立ち寄ることができる場所に / 音を感じられる場所 / 音あそび体験ができる場所 / 植物もいかしたい / 植物を見てもらう場所 / 茅ヶ崎らしさの体験場所 / 観光は鎌倉だけではないアピール / 道の駅との連動 / 観光ルートに組み込む / スタンプラリー / 旧藤間家住宅オリジナルスタンプを作る / 何個かの組み合わせのスタンプ / スタンプ目当てで気軽に来てもらう / 他の歴史的施設と連動でスタンプラリー検討 / カフェと一体化 / 歴史好き以外の人にも来てもらう / 畳の床もいかす / 古民家レストラン / 1階が住まい展示で2階がレストラン / 古民家の説明後に食事 / 予約制 / 内部を説明してくれる人を配置 / 建物をうまく使って学びと食事 / 地域の食材を活用 / 庭で食べられるように / 庭を見ながら食事 / 旧藤間家住宅で食事を作って配送する / みんなが集まる食事会のスペース / 曜日で用途（子ども食堂、カフェ）を変更 / 地域の人たちが集まる場所 / 子どもも大人も集まる / 地域の需要を検討し子ども食堂に / 図書館スペースに / 施設の歴史を語るスペースに / イベントスペース / 貸しスペース / 誰でも来ることができる場所 / 特別感がなくなる / 周辺住民に迷惑も考慮 / 開催時期などを検討 / 開催間隔も地域と相談 / 撮影スタジオとして活用 / カメラが好きな人にもアピール / ギャラリーとして活用 / 成人式や結婚式の前撮り / 和装にあう雰囲気が良い / 情報の整理 / 説明の充実 / わかりやすい展示と説明 / 旧藤間家住宅を大切にしてくれる人を増やす学び / 展示品の貸し出し / 入館料をとる</p>

グループF	グループ意見
<p>旧藤間家住宅でやってみたい こと 旧藤間家住宅を積極的に活用 していくアイデア</p>	<p>楽しそうなことがたくさんできそう / 茅ヶ崎のコンテンツになれば良い / 歴史あるものをうまく使って「見せる場所」にする / 茅ヶ崎の聖地にする / 習字ができれば良い / 絵を描きたい / スケッチをしたい / 絵の題材になる / ここから場所を知るきっかけにつながる / 庭の景色を見ながら月見や花見 / 舞台の会場に / 縁側を使った舞台 / 音楽会やライブ / 着物を着る / 成人式の前撮り / ウエディングフォト / 和の要素の活用 / 撮影場所として活用 / 着付けをして庭で写真を撮る / 各家庭のタンスに眠っている着物を着る機会 / 泊ってみたい / 宿泊施設に改装 / 避暑の場所として活用 / 居間で食事 / お茶を飲みながら展示を見る（展示に触れる、体験する） / 歴史的なものに囲まれつつ今を体験 / カフェ / 百人一首大会 / 囲碁や将棋の大会 / 囲碁や将棋教室 / 昔遊び（コマ、凧揚げ）を屋内や庭で / ワークショップ会場 / 季節ごとに開催内容を変えて行ってみたいと思える場所に / ニッキの木を活用したワークショップ / おみやげつきのイベント / レンタルスペース / 地域住民の各種会場に / 部屋貸しの場所に / 語りの場所 / 交流感 / 子どもが集まる場所 / 子育て交流会 / 温泉を掘って足湯</p>

<作成担当：柴田春菜、大橋裕子、杉浦弘子、向井ゆふ、山田修嗣>

## 4 市民討議会を振り返って

文教大学 学生スタッフ

### 1. 市民討議会の印象

- ・市民の方々が、住んでいる人の目線で積極的に意見を出していた。どの意見も「誰かの問題」ではなく、自分たちの生活に関わることとして考えている様子が伝わってきて、地域への思いの強さを感じた。旧藤間家住宅の活用方法について話した際には、交通や子育てなど身近な話題が多くでていて、このような話し合いが地域づくりにつながっているのだと実感できた。
- ・市民の方が積極的に発言していたのが印象的だった。初対面なのに、とても良い雰囲気の中で討議できているなどと思った。参加するまで旧藤間家住宅のことを知らなかった人が多い中、旧藤間家住宅の良さだけでなく茅ヶ崎市の良さも同時に残そうとする発言、活かそうとする発言に触れ、自分たちが住んでいるまちのことを大切に思っているのだなと感じることができた。
- ・参加者同士が年齢や性別をこえて活発に意見を交わす雰囲気がとても印象的だった。一つの課題について、市民一人ひとりが真剣に向き合い、より良い街づくりを考える貴重な場だと感じた。
- ・参加者一人ひとりが地域の将来に強い関心を持ち、年齢や立場に関わらず具体的なアイデアを積極的に述べていた点が印象的だった。
- ・旧藤間家住宅を知らない人も多かったので、先入観に縛られないさまざまな意見が出ていた。特に、コスプレスタジオや、文化を知りたい外国人観光客向けの一時的な使用などのアイデアは、特徴があっておもしろかった。
- ・市民の方がたくさん意見を出してくださって、模造紙に貼った付箋を上手く使いながら討議をしていた。休憩時間にも、市民の方が学生を交えて雑談をしてくださったのはうれしかった。
- ・実際に旧藤間家住宅を見学したことで、建物や敷地のイメージを具体的につかめたことが良かった。討議の中では、多くの市民がこの史跡の存在自体を知らなかったことがわかり、まずは広く認知されることが保存活用の第一歩だと感じた。学生の社会科見学など教育的活用の意見もあり、地域の歴史を伝える拠点として親しまれる場所にすることが重要だと思った。
- ・老若男女さまざまな立場の人が集まり、偏りのないメンバーで議論が進んでいた。また、茅ヶ崎に住む人々が、自分たちがこのまちを形づくっているという実感を持つための機会にもなっていると感じた。それぞれが市民としての視点から意見を交わす様子を見ると、行政や専門家ではなく、市に暮らす「当事者」こそ、最も地域の課題や魅力を理解しているのだと実感した。市民討議会は、単なる意見交換の場ではなく、参加者に、この市の一員であるという意識を強める場にもなっているという印象を受けた。
- ・市民の人たちが楽しく討議会に参加しており、活気のある活動であると改めて感じた。また、今年は旧藤間家住宅を見学してからの討議ということで、話し合うことがわかりやすいという印象を受けた。その結果、話が盛り上がっていたと思う。
- ・今回の市民討議会は現地訪問があったため、より具体的な案をもとに話し合いが行われているように感じた。また、同じ茅ヶ崎の人でも、長く住んでいる方と最近に引っ越してきた方とで少し意見が異なることも面白いと感じた。

## 2. スタッフとしてかかわった感想

・市民の方が気さくに話しかけてくださり、距離感の近さを感じた。私たち学生にも「若い世代」として声をかけてくださる場面があって、全体的に親しみやすい空気感だった。幅広い年代の方が参加していたことで、場全体が多世代の交流にもつながっていて、地域ならではのあたたかさを感じる経験になった。

・市民の意見と自分の思いが重なっていることもあり、反対に、新しい見方を知る場合もあり、楽しみながら参加できた。私自身の反省点は、もっと自発的に積極的に動けるようにすべきだった。

・市民の皆さんが真剣に意見を交わす様子を間近で見ることができ、印象的でよい学びとなった。意見をまとめることで議論が深まり、参加者同士の理解が広がっていくことにもやりがいを感じた。

・書記を担当したが、市民の方々が次々と意見を出される中で、その意図を正確に捉えつつ、重要なポイントをわかりやすい形で整理してメモするのは難しく感じた。

・班のメンバーがお互いをフォローしていい感じになったり、人とは違う視点の意見も軸に話を進めたり、柔軟性があった。全体として話を進めやすく感じた。

・付箋に市民の意見をまとめる作業を通して、市民の考えや市役所の方の思いも知ることができた。地域の歴史に触れながら、計画作りに関われたことは良い経験になった。

・市民が主体となって、まちづくりを真剣に考える現場を間近で見ることができたのは、非常に貴重な経験だった。参加者が自分の生活実感をもとに意見を述べ、議論を深めていく姿勢を見て、市民が議論に関わること、議論することそのものの大切さを改めて感じた。書記という役割ではあったが、この場に立ち会えたこと自体がとても楽しく、参加して良かったと強く思った。

・市民の意見を直接聞くことができる貴重な機会だった。市民意見の街づくりへの活かし方や、ディスカッションの重要性を改めて認識できた。スタッフとしては、およそスムーズに動けたと思う。しかし、準備への協力や動きが遅いと感じられた場面もあり、スタッフ全体に、協力して積極的に動くことを意識づける必要性も感じた。

・書記として、参加者の発言を正確に素早く記録する難しさと重要性を強く感じた。特に、速いテンポで意見が出る場面では、内容を要約しながら漏れなく記録することが求められ、集中力が必要であった。

## 5 アンケートの結果

(※自由記述については一部意見をまとめて集計している。自由意見等は原文のまま。)

(1) 事前アンケート (有効回答数 31)

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

【参加者の属性について】

設問 1. 職業 (○は1つ)			
農業・漁業	0	販売・サービス職	1
自営業・経営者	4	製造・労務職	1
自由業	1	パート・アルバイト	5
家事手伝い	0	家事専業	3
公務員・団体職員	3	学生	1
専門技術職	5	無職	0
事務職	3	その他	4

設問 1. その他
○大学非常勤講師
○保育園
○教員 (私立学校)

設問 2. 家族形態 (○は1つ)			
単身	1	既婚の子どもと同居	1
(自身の)夫婦のみ	12	親世代と同居	3
未婚の子どもと同居	12	三世代以上が同居	1
		その他	1

設問 3. 住居形態 (○は1つ)			
持ち家 (戸建)	19	集合住宅 (賃貸)	6
借家 (戸建)	1	公営住宅	0
集合住宅 (分譲)	4	社宅	1
		その他	0

設問 4. 市内での居住年数 (○は1つ、ただし「生まれてからずっと」については重複可)			
1年未満	1	10年～20年未満	3
1年～5年未満	6	20年以上	14
5年～10年未満	3	生まれてからずっと	4

設問 5. 茅ヶ崎での定住の意向 (○は1つ)			
住み続けたい	14	転出したい	0
できれば住み続けたい	13	わからない	4
できれば転出したい	0	その他	0

設問 6. 平日の平均在宅時間(睡眠時間を除く) (○は1つ)			
2 時間未満	0	7~12 時間未満	7
2~4 時間未満	6	12 時間以上	4
4~7 時間未満	14	その他	0

【参加の動機について】

設問 7. 市民討議会の手紙(参加依頼)が届いて、どのように感じましたか (いくつでも○)			
面白そう	17	なぜ討議をするのか不明	2
良い取組	12	実際に何をするか不安	5
新しい取組への期待	8	つまらなそう	0
選ばれてよかった	7	とくに感想はなかった	1
		その他	1

設問 8. なぜ討議会への参加を決意しましたか (いくつでも○)			
市民討議会が興味深かった	15	市民の役割として大切だと思ったから	10
テーマが興味深かった	7	新しいことにチャレンジしたかった	5
日程的に都合がよかった	9	市から手紙が届き参加しなければならなかった	4
市のために協力したかった	7	日頃から市に言いたいことがあった	0
		その他	2

設問 8. その他			
○活用法を考えたいと思った。			

設問 9-1. 謝礼の必要性について、どのようにお考えですか (○は1つ)			
必要だと思った(参加はするが必要と感じた)	11	不要だと思った	14
		その他	6

設問 9-1. その他

- 誰に向けてかわからないですが謝礼はあった方がいいかと思えます。
- 討議によって新たな取組みに展開する可能性があるならば謝礼はあってよい。一方で通常見る事のできない内部説明やお茶を用意頂く事が謝礼とも受け取れる。
- 不要で始め、集まりに応じて検討。謝礼目的の参加者でない方がいいかと。
- わからない。考えたことがなかった。
- アンケート書くまで知らなかった。その上で嬉しくはある。
- 考えたことがない

設問 9-2. 【設問 9-1】で「必要だと思った(参加はするが必要と感じた)」を選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思えますか (○は1つ)

謝礼 1000 円	2	謝礼品 1000 円程度	4
謝礼 3000 円	0	謝礼品 3000 円程度	1
謝礼 5000 円	2	謝礼品 5000 円程度	1
謝礼 10000 円	1	謝礼品 10000 円程度	1

設問 10-1. 文化財に対して、どのような印象を持っていますか。(いくつでも○)

歴史的な価値がある	26	将来世代のために重要	13
地域の誇りとしての価値がある	12	観光資源として重要	11
学ぶことや研究に役立つ	19	日常生活に取り入れたい	6

設問 10-2. 【設問 10-1】の選択肢以外の印象がありましたら下欄にお書きください。

- 消失したら二度と回復不能なものとして大変重要であると考えます。
- 選択肢 3 の学ぶことに補足して、年齢、世代関係なく学び、学び直しは大事にしたい。
- 守ることに理解と資源が必要と感じる
- 何故、市の財産なのか知りたいし周知させたい
- 箱物の保管には金がかかるのでどこまでいくらまでかけ続けるか判断が必要に感じる

(2) 事後アンケート

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

設問 1. 今回の市民討議会について感想や印象をお聞かせください (○は1つ)		1	2	3	4	5
		そう思う	えぼどちらかと思う	どちらとも言えない	えぼどちらかと思う	そう思わない
A	市民討議会はおもしろかったですか	27	2	2	0	0
B	討議会の進め方はわかりやすかったですか	22	7	2	0	0
C	進め方に関する説明は十分だと思いましたか	18	10	2	1	0
D	アイスブレイクで話しやすくなりましたか	17	8	3	2	1
E	各回の情報提供で、討議がおこないやすくなりましたか	18	9	3	0	0
F	討議1のテーマは、話しやすかったですか	16	9	1	5	0
G	討議2のテーマは、話しやすかったですか	22	7	1	0	0
H	討議を通して自分の考えが深まりましたか	21	8	2	0	0
I	グループ発表は、全員の意見が十分反映されていましたか	20	10	1	0	0
J	各班の討議報告で、他の参加者の意見がわかりましたか	28	2	1	0	0
K	市民討議会は市民の声を反映させるのに有効な手法と感じましたか	22	5	3	0	1
L	討議に参加して、市民が「まちづくりの主演」という印象が強まりましたか	16	9	4	1	1

設問 2. グループごとの話し合いは、円滑に進みましたか (○は1つ)			
円滑に進んだ	22	やや行き詰まったときがあった	0
やや円滑に進んだ	7	何度も行き詰まった	0
どちらとも言えない	2	その他	0

→どのようにすれば、より活発な討議が出来ると思いますか。下欄にお書きください。

○今回のテーマがなじみがなく難しかった。
○自由度を高めるとか？ 討議時間が少なくは感じた。2の会話を1でさせてもらえなかった。
○司会も市民の中でリーダーのように出したら良いと思いました。
○司会者による全参加者に対して順番に指名する。意見を出さない参加者もいた為。
○運営はよかったです。ありがとうございました。
○ファシリテーターがいたので討議しやすかったです。
○皆さんが結論から言ってくれるので話が進みやすくこれからどうしていくか、と言う話まで持ち込めて書記さんの書いたもの(付箋)をまとめられたので特にありません。
○今のままでOK。市長がいらしたのはGood。
○各自の趣味とか、現在やっていること等、その人のバックボーンがわかる内容なり紹介があればよいのでは。
○今回、現地に行って同じ体験をしたことがよかったです。

- ①基本的にどんなアイデアでもみんなで喜んで受け入れる。否定しないで認める。②何でもいいからどンドンアイデアを出すことを目的にする。という2つを初めに参加者に伝えて話してもらおうと良いアイデアが出てくると思います。
- 付箋の整理をだれがいつするかが分かりやすいと良かったです。(ただ貼っただけになってしまったので)
- もう少し時間があれば良いと思った。
- 発言の少ない方に発言をうながす
- 年代別でグループ分け
- ある程度の自己開示。お互い初対面で話しづらい。

設問 3. 討議の際、平均して何回くらいお話しされましたか (○は1つ)

10回以上	2	1~3回	6
7~9回	6	0回	0
4~6回	16	わからない	1

設問 4. 市民討議会ではじめて顔を合わせる他の市民との会話について、どのように感じましたか (いくつでも○)

さまざまな考え(発想)が聞ける楽しさ	28	はじめて会う人との会話における抵抗感	4
さまざまな世代の意見が聞ける楽しさ	18	意見を言うのになれておらず、話しにくい感じ	4
同じ茅ヶ崎市民としての共感や連帯感	18	その他	0

設問 5. 今後、同様に市民討議会の案内が届いた場合、何を条件に参加を決めますか (いくつでも○)

日程	20	案内があればぜひ参加したい	18
内容・テーマ	18	条件を問わず参加しない	0
謝礼の有無と金額	0	その他	0

設問 6. 開催時間についてどのくらいの所要時間が望ましいと思いますか (○は1つ)

1時間程度	0	4時間程度	3
2時間程度	2	5時間程度	3
3時間程度	20	その他	2

設問 6. その他

- テーマによる
- 文化財についてもっと説明を聞きたかった。もしくは事前の情報提供(学習)。

設問 7. 市民討議会に参加して、謝礼の必要性について、どのように思いましたか (○は1つ)

必要 <Q7-1 へ>	11	不必要	17
-------------	----	-----	----

設問 7-1. 【設問 7】で「必要」を選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか（○は1つ）			
謝礼 1000 円	2	謝礼品 1000 円程度	4
謝礼 3000 円	0	謝礼品 3000 円程度	1
謝礼 5000 円	2	謝礼品 5000 円程度	0
謝礼 10000 円	1	謝礼品 10000 円程度	1

設問 8. 旧藤間家住宅に関する情報を、今後どのような方法で受け取りたいですか（いくつでも○）			
市の広報紙に掲載	16	SNSを用いた情報発信	16
市ホームページに掲載	13	PR動画を配信	7
チラシを作成して配布	3	市庁舎や路線バス等のデジタルサイネージを活用	5
ポスターを作成し掲示板に掲示	6	イベントや講座を開催	18
		その他	2

設問 8. その他	
○VRがあるのでもっとホームページにわかりやすく掲載。社会科見学で活用してほしい。	
○道の駅で掲示する案は感動した！	

設問 9. 旧藤間家住宅の活用を持続させるために、どのような工夫が必要だと思いますか（いくつでも○）			
市民参加型の運営体制づくり	14	寄附やクラウドファンディングの活用	7
定期的なイベント開催による集客	25	他の文化施設との連携	11
地域企業・学校・団体との連携	23	定期的な収益事業の導入	11
		その他	4

設問 9. その他	
○道の駅との連携	
○PFIの活用	
○歴史、魅力の整理とブランド化	
○コストによると思うが専門家の意見	

設問 10. 旧藤間家住宅の活用に向けて、市民としてどのような協力が可能だと思いますか(いくつでも○)			
情報発信や口コミでの応援	14	地域の文化や伝統を紹介する活動への参加	18
自分の専門知識や経験を活かした協力	12	写真・映像・文章などの記録制作への協力	12
高齢者や障がいのある方が参加しやすい環境づくりへの協力	11	旧藤間家住宅の魅力を伝えるガイド役としての協力	2
子ども向けの体験企画や学習プログラムのサポート	15	その他	0

(3) 不参加者アンケート 集計 (有効回答数349)

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

●あなた御自身のことについて教えてください。

設問1. 年代			
20歳代以下	62	60歳代	36
30歳代	65	70歳代	31
40歳代	91	80歳代	17
50歳代	46	80歳代以上	1

設問2. 性別			
男性	140	その他	2
女性	203	回答しない	4

●茅ヶ崎市「市民討議会」について伺います。

設問3. 市民討議会について知っていましたか			
知っていた	13	あまり知らなかった	50
少し知っていた	18	知らなかった	268

設問4. 手紙が届いたことで市民討議会に興味を持ちましたか			
強く持った	30	あまり持たなかった	88
少し持った	177	全く持たなかった	53

設問5. 今回参加されなかった理由は何ですか (複数回答可)			
日程が合わなかったから	213	謝礼がないから	18
興味のないテーマだったから	124	意見は反映されないと考えるから	8
行政の事業には興味がないから	8	時間が長いから	62
面倒だから	49	その他	54

設問5. ⑧その他			
・ 仕事のため 7件 ・ 難しいから ・ 抽選なので参加できないと思った ・ 身体に異常があり少しの時間でもなかなか皆様と共に行動できません ・ 体調が悪い為、申し訳ありません ・ 持病があり、もし面倒をおかけしてはいけないので ・ 育児で忙しいため ・ 旅行に行く予定がある ・ 身体をこわしたから ・ 討議が苦手な為 ・ 私共の住所等どのように得られたのか疑問。自身、体調がすぐれぬ日々の生活の為 ・ 引っ越しを前にしておりますので			

- ・外国人だから
- ・討議するのが苦手
- ・祖母と子3人に手がかかる為
- ・引っ越してきたばかりなので
- ・体調が良くないから 6件
- ・高齢の為、参加は難しい
- ・介護2で歩けません
- ・交通が不便
- ・市外へ転居したため
- ・情報が？
- ・家族の時間を優先したいから
- ・知らない人との会話が嫌だから
- ・妻が亡くなり孫と二人暮らし、目も良くなく家事の一切を私一人でやっている。毎日2か所の病院に行って時間が作れない
- ・分からないテーマで意見が言えない・・・。
- ・年齢的な事から
- ・子供を連れて行くことが大変だから
- ・恥ずかしながら存在を知らなかった。意見を交わすのも苦手だから
- ・子供がいて面倒を見る人がいないから
- ・2歳、0歳の幼児がいるため参加困難
- ・まだ、子供が小さく預けることができないため
- ・母が代筆させていただきます。息子に今回の手紙が届きましたが、障害者の為、理解できません。
- ・出産を控えているため
- ・妊娠後期で体調的に難しいため
- ・妊娠中の為
- ・情けないが、他人との会話が苦手ですストレスになる
- ・市外に引っ越しの予定
- ・受験勉強に勤しんでいるため
- ・暇じゃないから
- ・留守中に書面が届き、帰宅後拝見しましたので申込期間に間に合わず大変申し訳なく、また残念に思いました

設問6. どのようなテーマなら参加したいですか（複数回答可）

子育て・学校教育	129	安全・安心	91
地域経済・働く場	94	都市づくり	91
地域福祉・医療	100	行政経営	31
生涯学習・文化	73	その他	31
周辺の生活環境	128		

設問6. ⑨その他

- ・特になし 7件
- ・たくさんの方の前で意見することが苦手なので、参加したいと思えない
- ・今回の旧藤間家住宅には興味はありますが、討議となると敬遠してしまいます
- ・外国人のあつまり
- ・どんなテーマでも参加したくない 3件
- ・妻の足が悪くて面倒見ているから参加できない
- ・興味はあるが参加したくない
- ・防災 2件
- ・話をきくだけならいいけど討議は無理
- ・茅ヶ崎の海岸美化
- ・興味がない 2件
- ・討論とか意見を交わすことが苦手だから
- ・息子の意見を聞く事ができません
- ・範囲がひろ過ぎてよくわからない
- ・保護猫・犬活動
- ・分からないです
- ・参加はしたくないが、皆さんの審議内容や成り行きには興味がある
- ・BiSH なら

設問7. 次回、このようなイベントの案内が届いたら、どうしますか（複数回答可）

日程が合えば参加する	86	謝礼があれば参加する	30
興味のあるテーマなら参加する	149	その他	27
参加したくない	58		

設問7. ⑤その他

- ・多分参加できないと思います 4件
- ・体調が良くなれば参加したいです 2件
- ・小さな子供たちを残して参加するのは難しいです
- ・体調による
- ・そのとき検討する 2件
- ・参加できる体調でない為
- ・とても良い事だと思います
- ・現在、討議会に参加する余裕がないので
- ・子どもがいるので子も参加できるイベント
- ・討議が苦手だから参加したくない
- ・もう無理です
- ・目的が理解できないため、参加したいと思わない。別紙に「私たちの意見とし集約することができ」と認識あるが集約した結果どうなるのか、また「まちづくりに興味をもつただく機会として」とあるが興味をもつことが目的なら意義が理解できない
- ・迎えに来てくれるならOK

- ・時間が短ければ
- ・時間的拘束が短ければ 12:30～17:00 は長いか
- ・外出不可
- ・時間、余裕がない。高齢健康上
- ・安全・安心
- ・せめてアンケートだけは答えたい
- ・高齢なので外出するのがおっくうです
- ・家庭の事情と仕事により、都合がつかなくて申し訳ありません
- ・わからない
- ・時間があるなら家族の為に使いたい
- ・いい

●今回のテーマに関連する内容について伺います。茅ヶ崎市には旧藤間家住宅の他に、多数の文化財があります。市の文化財建造物に関する市民意識を把握したいと考えております。

設問 8. 民俗資料館の旧藤間家住宅を知っていますか

はい	53	いいえ	296
----	----	-----	-----

設問 9. 設問 8 ではいと回答した方に質問です。旧藤間家住宅に行ったことはありますか

はい	22	いいえ	30
----	----	-----	----

設問 10. 設問 9 でいいえと回答した方に質問です。その理由を教えてください

- ・近所なので知っていますが、壊したら怖いので入ったことはありません
- ・家の中まで興味がなかったです。まだ年齢のせいかもしれません。もう少ししたら興味が出てくるかもしれないです
- ・強い興味はないから。場所が遠いから
- ・自宅から遠い 3件
- ・近くに用事があると寄ってみようと思いますが、なかなかその予定がない為
- ・あまり興味がなく、行こうと思わなかったから
- ・理由等特になし
- ・興味がないから 4件
- ・興味がないから。魅力がわからないから
- ・興味がなく、行く機会もなかったため
- ・行く機会がないので 7件
- ・足があれば行ってみたいと思います
- ・なんとなく
- ・知らなかったので
- ・子供と気軽に行くことができない
- ・関心が薄い

設問 11. 次の文化財建造物の中で知っているものを選択してください（複数選択可）			
1. 旧和田家住宅	76	3. 旧氷室家住宅	52
2. 旧三橋家住宅	26	4. 旧南湖院第一病舎	59

設問 12. 設問 11 で回答した方に質問です。行ったことがある文化財建造物を教えてください (複数選択可)			
1. 旧和田家住宅	57	3. 旧氷室家住宅	37
2. 旧三橋家住宅	18	4. 旧南湖院第一病舎	26

設問 13. 設問 12 で回答した方に質問です。行ったことがない理由を教えてください。また、どのような条件であれば行きたいと思うか教えてください。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「1日オープンデー」他、誰でも歓迎されている状況であればぜひ入りたいと思いますが、Q10同様、無知の人が入って良いのかわからないし、何か壊したら嫌なのでどこも入ったことありません。</li> <li>・建造物（歴史的）等の告知が少ないように感じます。一度、多くの人に興味を持ってもらうイベントの実施をすれば多様な人が知ることができると考えます。</li> <li>・市の広報紙などでたびたび施設を紹介したり、イベントなどやってくれると行く気持ちが出てくるかもしれません。</li> <li>・旧和田家住宅、旧三橋家住宅は全く知らなかった。旧南湖院第一病舎は入れると知らなかった</li> <li>・旧氷室家 施設があることを知らなかったため行ったことがなかった。このような素晴らしい施設があることを周知する必要があると思いました。</li> <li>・旧三橋家住宅、旧氷室家住宅、旧南湖院第一病舎知らなかった。駐車場がなさそう。</li> <li>・文化財があることを知らなかった。茅ヶ崎の歴史を知る機会があれば行きたい。</li> <li>・3以外行ったことがないのですが、できたらこの建築物の外観を（写真等）同封されていたらもっと興味をもったのに残念です。</li> <li>・旧氷室家住宅以外の3か所。旧氷室家住宅は椿庭園を見に行った時にあわせて見た所なので公開されていることは知っている。他3か所は自由に見に行けるようになっていないのかわからない。場所がわからない状態。古民家が文化財として残されているのなら、それをまとめたホームページがあるとわかりやすいと思った。</li> <li>・全て行った事はない。場所を詳しく調べた事が無い。日常でふらっと立ち寄って良いものなのか分からない。</li> <li>・現在の私の状況では残念です。</li> <li>・すべて行ってません。チャンスがなかったからです。</li> <li>・茅ヶ崎市に文化財建造物があるのを正直、茅ヶ崎市に住んでいながら知りませんでした。「友人に茅ヶ崎に遊びに行きたいけど何かある？」と言われ、何も答えることはできませんでした。サザンオールスターズの聖地としてもっとみんなが興味を持ってもらえるように住民として知人や友人、親族を呼べて案内できるPRが足りないと思います。もったいないと思います。</li> <li>・行く機会がなく、歴史に興味がない。</li> </ul>	

- ・特に興味がわからないからです。
- ・自らは行きにくい。見学会等あれば行きたい。
- ・和田家：アクセスが悪い 三橋家：場所を知らない 南湖院：行くタイミングがなかった
- ・気軽にいけないような気がするから。
- ・全て今後勉強したいと思います
- ・施設をよく知らない（旧和田家、旧三橋家）
- ・旧三橋家住宅と旧南湖院第一病舎に行ったことがありません。交通の方法等わかれば行くかもしれません。何十年も茅ヶ崎に住んでいて旧南湖院第一病舎を知らなかったこと残念です。調べて行ってみようかと思えます。（そもそも知っていても行って良いところかどうかもわからなかった）
- ・旧三橋家住宅、旧氷室家住宅、旧南湖院第一病舎 どこにあるか知らない
- ・ご尽力してくださってらっしゃる方、ご苦労様です。ご協力できず申し訳ございません。
- ・機会がなくて行ったことがありませんでした。文化や歴史について説明していただける機会があれば参加したいです。
- ・あまり興味がないため
- ・どこにあるか知らないから
- ・茅ヶ崎に引っ越してきて、この町の事を少しでも知って好きになろうと思って市の企画されている茅ヶ崎の町の話をしる会に参加したとき施設の名前を知りました。その時、和田家、三橋家もきいたのかもしれませんが記憶に残ってなく申し訳ないです。でも、住んでいるうちに今は、出掛けて電車で茅ヶ崎に帰ってくるとホッとした気持ちになります。好きになって住むことはしあわせだと思います。
- ・特に考えた事等ありません
- ・旧南湖院第一病舎：交通の利便性 旧三橋家住宅：知らなかったから。旧南湖院第一病舎：近くを通るが興味がなから。興味がないと茅ヶ崎にどんな文化財建造物があるのか知らないしどのような魅力があるのかもわからないので行こうとは思わない。
- ・旧南湖院第一病舎 近くにあるので気づきにくい。
- ・旧三橋家住宅、旧南湖院第一病舎：そのようなところがあることを知らなかったため
- ・旧三橋家住宅、旧氷室家住宅：知らなかったし、行ってみたいと思わない。ただ展示されているものを見るだけではなく、おもしろい仕掛けなどあれば子どもと一緒にしてみようと思えます。
- ・場所がわからない
- ・そもそもそういった方の住宅を知らない。はずかしいことですが、それぞれの住宅、何をした人なのか、他にもいるのですか。茅ヶ崎の事、知らないでゴメンナサイ。
- ・全部の施設 子ども向けのイベントがあれば行ってみたいかなと思う
- ・自宅から近いためあることは知っているが、開放されている日時がよくわからず、お散歩や子どもと行く場所を選ぶ時に選択肢に入りにくい。子どもが3歳なため一緒に楽しむような場所なら行きたい。
- ・3年前に愛知県から移住
- ・美術品、花、あじさい etc
- ・旧三橋家住宅、旧氷室家住宅、旧南湖院第一病舎それぞれ知らなかったのと、開放していることも知らなかった。

- ・興味がなかった バスツアーなどがあれば参加したい
- ・面倒くさい
- ・宣伝不足だと思う。茅ヶ崎に文化財建造物があることを知らなかった。
- ・高齢の為、長・中距離になると歩けない。今のところ、自転車移動は可能。
- ・旧三橋家住宅：存在を知らなかった。旧氷室家住宅：入って良いのかどうかわからなかった。旧南湖院第一病舎：何度も目の前まで行っているが入場できるかわからなかった。
- ・よく知らなかった
- ・全て、行く機会がないので。
- ・旧和田家と旧氷室家住宅は存在自体分からなかった為。広報でもっと積極的に取り上げれば行っても良いと思う。
- ・特になし
- ・そもそも知らない
- ・旧氷室家住宅、旧南湖院第一病舎 気軽に散歩しながら立ち寄れる場所なら行けそう
- ・知らないから。
- ・理由は興味が無かったからです。
- ・旧氷室家住宅と旧南湖院第一病舎がどこにあるか知らない。場所がわかれば行ってみたいと思う。
- ・興味がないので
- ・市の広報などで文化財建造物について特集を組んだり、広く存在を知らせて欲しい。例えば建造物巡りを定期的に行い出かけやすい方法を整備してほしい。
- ・旧和田家住宅と旧南湖院第一病舎は機会がなかったので行ったことがないですが、ツアーのようなものがあって日程があえば参加してみたい
- ・知らなかった為
- ・旧和田家住宅、旧三橋家住宅、旧南湖院第一病舎、存在を知らなかったから
- ・旧南湖院第一病舎 特に行きたいという理由がないから。何か、起こらない限り行くことはないかも知れません。
- ・小学校の授業で見学に行ったくらいで、それ以外の文化財については大人になってからは関心がなかった。街の歴史は堅苦しくて難しいイメージがある。子育てしていく中で教育現場だけでなく子どもと一緒に体験できるワークショップやキャラクターコラボなど子どもが興味を持ちそうなグッズなどで茅ヶ崎の歴史を感じる場面があると生まれ育った街を知るきっかけになる。
- ・存在自体知らなかった アクセスが良ければ
- ・旧三橋家住宅、旧氷室家住宅、旧南湖院第一病舎、行く機会がない
- ・旧和田家以外は場所がわからず、どんな由来があるかも知らない。
- ・旧三橋家住宅、旧氷室家住宅、旧南湖院第一病舎は知らなかったです。旧和田家住宅は小学生の頃に夏休みの課題研究で伺わせて頂いたので、きっかけから興味が湧いたら、行きたいと思うのではないのでしょうか。
- ・旧三橋家 名前を知らなかったし訪れる機会がなかった
- ・ほとんど行ったことがありません。あまり茅ヶ崎市の文化財として発信されていなかったように思うので知りませんでした。また、建築やそういった文化財にあまり興味がないからかもしれません。茅ヶ崎市民だけでなく建築に興味のある学生や社会人等に知ってもら

うべきだし行って欲しいです

- 旧氷室家、南湖院 場所が分からない。興味深い施設であることと理由と駐車場があれば、行ってみたい。
- 全て どこにあるかわからないから
- 旧和田家住宅、旧三橋家住宅は存在も知りませんでした。旧南湖院第一病舎はおおまかな場所はわかりますが、自宅から距離があるので行ったことはありません。市や観光協会主催で、文化財建造物を巡るツアーなどがあったら行ってみたいです。
- 全て。関心が薄いので。
- 旧氷室家住宅 旧南湖院第一病舎 いずれも近所になく、駐車スペースもなさそうなので
- 全て行ったことがない 行く機会がない
- 旧氷室家住宅以外の場所、単純に知らなかった 調べてみて魅力があれば行ってみたい。
- 南湖院 入ってみたいが、自由に入れるかなど情報が少ない。
- 旧三橋家・公民館のイベントや茅ヶ崎市博物館への実習の際など、きっかけがありお伺いしたことのある旧和田家に対して、旧三橋家ではそのようなイベントなどに参加するきっかけが今までありませんでした。そのため、訪れたことはありません。今回、旧三橋家や旧藤間家住宅のを知ることができたため、時間ができた際に何もなくても行ってみたいかなと思いました。また、今回のイベントも、日程が合えば参加したかったです。
- 全て 若者も入りやすいような雰囲気 SNS での積極的な広報
- 旧氷室家住宅と旧南湖院第一住宅 同じ市内でも場所がわからない（道が混んでいそう）。見学会などバスツアーがあれば是非参加したい。
- 三橋家・遠いから 旧南湖院・遠いから
- 南湖院は知っておりますが第一病舎へ伺ったかどうかは不明です。存在を存じ上げなかった為、訪ねた事ありません。もう少し詳しく知識を得れば興味を持ち「行ってみたい！！」と思うような気も致します。

## 6 市民討議会講評

「みんなで語ろう！旧藤間家住宅のこれから～文化財×市民の㊦㊧㊨㊩で『ちがさき文化が湧き出る場所』を構想してみよう～」をテーマに、今年度の「市民討議会」が開催された。茅ヶ崎市に実在する文化財建造物（登録有形文化財）を対象にした討議会であり、内容も今後旧藤間家住宅をどのような場所にしていこうかという、極めて具体性を持つ内容である。

今回は討議会に先んじて、旧藤間家住宅をより深く理解していただくために現地の見学が行われた。あいにくの雨天だったが、見学時には小雨となり、建物だけではなく、庭園全体を見学することができた。主屋和室続き間で詳細な説明を伺ったのち、建物全体を見学し、洋間と和室が混在する様子や、建物の大きさを実感していただくことができたのではないだろうか。次に庭を見学し、土蔵跡や掘抜井戸跡、藤間温泉説明札、納屋にあった民具などに大きな関心が寄せられた。また、巨大な金木犀の下には見事なオレンジ色の絨毯がつくられ、庭のニッケイの木の子の木のニッキの小片が参加者に渡された。旧藤間家住宅の場合主屋のみでなく屋敷地全体に価値があり、そのことを現地の見学で五感を使って理解していただくことができ、また、現地までのミニハイキングは参加者の垣根を低くすることに貢献した。

会場に戻ったのち、旧藤間家住宅の良さ、魅力についてまず討議が行われた。それに先んじて、筆者から、登録有形文化財の制度について簡単に説明し、建築としての藤間家住宅主屋の価値についてお話した。藤間家住宅主屋が当時都市郊外で多く造られた洋館付き住宅であること、設計には西村伊作という著名な建築家に関与していたことなどの話題提供を行った。参加者からは、実際の見学を通して感じた旧藤間家住宅の魅力が多く語られた。建物の魅力とともに敷地内の様々な魅力、旧藤間家住宅の歴史文化のもつ魅力など実に多様な側面から魅力が語られたのが印象的だった。

次いで、では、旧藤間家住宅をどのように活用していくのかについて討議が行われた。筆者からは、現在全国で行われている文化財の利活用事例を紹介した。特に神奈川県内の諸事例を取り上げ、行政が所有し民間が運営している事例や、やや尖った事例も織り交ぜ、そのために建物の変更がどこまで可能かなども概説した。

それを受けて、様々な活用の提案がなされた。多くの提案が、旧藤間家住宅に大きく手を入れるのではなく、そのまま活用しようとするものだった。旧藤間家住宅はそのままでも十分魅力ある存在であることを参加者が実感していたのだ。活用のキーワードとしては、地域住民の活動の場、子どもの学びの場、茅ヶ崎の他の歴史資源との連携などが挙げられ、多くの人に知ってもらうことが重要でそのために様々なイベント行うことなども提案された。

残念ながら討議会前から旧藤間家住宅を知っていた参加者はごく僅かだったが、今回参加した多様な市民が、討議会を通して旧藤間家住宅を知り、その中で現在の旧藤間家住宅の持つ極めて多様な魅力を瞬時に理解し、それをそのまま活かすことこそ、今後の活用の肝であることを語ってくださった。

長く旧藤間家住宅にかかわってきたものとして、旧藤間家住宅のもつ魅力と実力を改めて実感することができた。参加してくださった市民の皆様の貴重な意見を今後も大事にしていきたいと思う次第である。

関東学院大学名誉教授 水沼淑子

## 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き

- (1) 第1回実行委員会（6月4日/水曜日）
  - ・ 「市民討議会」について
  - ・ 実行委員会内での役割分担について
  - ・ 実施テーマについて
  - ・ 無作為抽出する市民の数及び年齢層について
  
- (2) 第2回実行委員会（6月24日/火曜日）
  - ・ 市民討議会の開催日について
  - ・ 招待状の内容について
  - ・ 討議の詳細について
  - ・ 情報提供者について
  
- (3) 第3回実行委員会（7月18日/金曜日）
  - ・ 旧藤間家住宅視察について
  - ・ 全体テーマ名について
  - ・ 招待状の内容についての修正
  - ・ 討議詳細について
  
- (4) 第4回実行委員会及び模擬討議会（9月11日/木曜日）
  - ・ 模擬討議会の振り返り
  - ・ 市民討議会の開催に向けて
  - ・ 託児等について
  - ・ 購入物品について
  
- (5) 令和7年度市民討議会開催（10月26日/日曜日）
  - ・ 討議会を実施
  
- (6) 第5回実行委員会（12月22日/月曜日）
  - ・ 市民討議会の振り返り
  - ・ 報告書の構成について
  - ・ 討議会の在り方について

令和7年度「市民討議会」報告書

---

令和8年3月発行

編集・発行 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会